

社員教育

当社では、社員研修センター等を活用した集合研修のほか、業務知識の習得や資質向上のサポートを目的とした自己啓発支援制度を実施しています。

社員研修センターを活用した集合研修

階層別研修

研修を通じて、会社組織における各階層の役割を認識するとともに、職務内容に応じて必要となる問題解決力やマネジメント能力等を習得し、社員としてのキャリア形成を促します。

職能別研修

社員研修センターの実習設備等を活用した研修を通じて、鉄道の各業務に必要な専門技能・技術を習得します。



社員研修センター



乗務員シミュレータを使用した実習



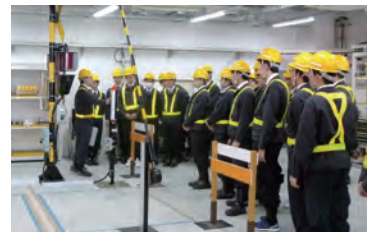
マルス端末を使用した切符発券等の実習



車両部品の回路組立実習



実習線設備を使用したレール計測実習



踏切・信号機等のメンテナンス等の実習

自己啓発支援制度

社員の自己啓発を積極的に支援するため、通信教育や国家試験資格等取得お祝金等の制度を導入しています。

当社の自己啓発支援制度

- ①通信教育(社内通信教育「GUM」／社外通信教育「PUP」)
- ②大学通信教育による学士修得支援
- ③MBA(経営管理修士)修得支援
- ④国家試験資格等取得お祝金



コンプライアンスの徹底

JR北海道グループは、お客様と地域の皆様から信頼される企業グループとなるため、グループ一丸となってコンプライアンスの徹底に向けた取り組みを実施しています。

【主な取り組み】

「コンプライアンス委員会」の設置

第三者による外部の視点を取り入れるために社外委員をメンバーに含めた「コンプライアンス委員会」を設置し、重大なコンプライアンス違反事象の原因究明と再発防止策について、妥当性の検証を行っています。

「グループコンプライアンス相談窓口」の浸透・活用の推進

相談窓口をより実効的に機能させるため、匿名受付や社外の窓口も設置しています。また、ポスターやコンプライアンスカードに相談窓口の連絡先などを掲載しています。

社会の要請に応える情報公開の推進

お客様の安全に関わるおそれがある事象、コンプライアンス上重大な事象、お客様にご迷惑をおかけした事象が発生した場合は、積極的かつ速やかに情報を開示します。

コンプライアンス教育の実施

これまで起きたコンプライアンス違反事例を自分ごととして捉え、一人ひとりが考え、意見を共有することで意識を高めるため、全ての社員が年に1回受講する職場内講習会を継続的に実施しています。